

令和5年度（2023年度）
事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	八尾商工会議所	
	代表者職・氏名	会頭 山口 孝満	
	所在地	〒581-0006 大阪府八尾市清水町1-1-6	
	担当者	職・氏名	中小企業相談所 支援グループ 主任 経営指導員 大西 真稔
		連絡先	TEL（直通）： 072-922-1181
Fax： 072-922-8828			
E-mail： m-ohnishi@yaocci.or.jp			
①設立年月日	昭和24年5月16日		
②職員数 （うち経営指導員数）	16名（経営指導員14名）（令和6年3月31日現在）		
③所管地域	八尾市		
④管内事業所数	10,930（令和3年度経済センサス）		
⑤管内小規模事業者数	7,630（令和3年度経済センサス）		
⑥会員数（組織率）	3,528（令和6年3月31日現在）組織率：32.2%		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）			
①商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申 ②商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・運用 ③商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査 ④輸出品の原産地証明 ⑤商工業に関する技術又は技能の普及又は検定 ⑥博覧会、見本市等の開催・あっせん ⑦商事取引に関する仲介又はあっせん、紛争に関するあっせん、調停又は仲裁 ⑧商工業者の信用調査、観光事業の改善発達 ⑨社会一般の福祉の増進に資する事業 ⑩行政庁から委託を受けた事務 ⑪上記のほか、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業			

(1) 事業の目標

- ・コロナ禍が収束に向かい始め、これからの営業基盤の構築や社会背景を踏まえた新たな取組みに対する支援を行うべく、経営相談支援事業を強化する。
- ・階層別研修を実施し、人材育成を通じた組織力強化へ繋げる。
- ・ものづくり企業のビジネスマッチング促進として、展示商談会を行うことで、販路拡大へ繋げる。
- ・個店魅力を引き出す取組みや販売促進を通じて、集客や知名度向上、賑わい創出へ繋ぐ。
- ・各支援機関等と連携し、求人・求職者との就職マッチング支援を行い、人材確保を通じた企業競争力の維持・強化へ繋げる。
- ・女性の働く環境整備や採用方法、女性活躍推進法に取り組む企業の事例紹介を通じて企業における女性従業員の活躍推進に取り組む。
- ・地域資源を活用した商品や地域資源の知名度向上・魅力向上に取り組む、地域活性化へ繋げる。
- ・事業承継支援やBCP策定支援を通じ、企業活動の維持・強化へ繋げる。
- ・事業遂行にあたり、経営指導員間の情報共有や専門家その他各支援機関との連携を図り、経営改善の成果向上へ繋げる。
- ・事業計画書策定など、経営指導員と専門家が連携しながら支援を進める。
- ・2025年の大阪・関西万博開催における「万博関連事業受注者登録システム」への登録を推奨することで、間接的な需要の獲得を行う。
- ・中小企業の脱炭素へ向けた取組み支援することで、取引機会の促進を行う。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点**【相談事業】**

経営指導員による経営相談支援事業では、巡回、窓口による相談事業を推進し、中小事業者が抱える課題の切り分け、適切なサービス提案、経営支援が行えるよう努め、令和5年度は、生産性向上を目的としたIT支援、事業継続を目的とした事業承継、BCP支援を行い、脱炭素などの施策提供、インボイス制度の情報提供について取組み、全ての相談件数では、3,967件を計上し、相談件数の水準としては高く推移している。

また、補助金の活用に向けた事業計画書策定支援も増加し、販路開拓や生産性向上に向けた取組みに関する支援を強化し、(株)日本政策金融公庫との連携により、経営改善に向けた資金調達支援に努めた。

【専門相談】

経営指導員だけでは単独支援が困難な高度専門的な課題については、専門家と連携し事業者の抱える課題解決に努めた。

令和5年度は、支援事業所の販売促進や生産性向上を目的に、IT支援も行い、専門家と連携しながらアドバイスをを行うなど、従来よりも支援内容を強化した。また、事業継続計画(BCP)の策定支援では、専門家の助言をいただきながら策定支援を進め、事業承継支援についても令和4年度に引き続き、専門家と同行するなど、事業者支援を行う当所経営指導員の資質向上にもつながった。

【地域活性化事業】

事業者が抱える課題の解決に向けた支援事業を推し進めた。

令和5年度は「ビジネスチャンス発掘フェア2023」をマイドームおおさかで2日間にわたり開催し、自社製品や技術、サービス等の情報発信支援や新たな販路開拓先支援を目的に、近隣商工会議所等との広域連携による合同展示商談会として、優れた企業群のアピールを進め、販路支援と共に地域産業の認知度向上に努めた。商業支援としては、地域資源を活用した八尾ブランド商品の販路支援に努めた。

また、事業承継、BCP、ものづくり技術、階層別人材育成など、多くの事業者が抱える課題の解決に資するセミナーを開催するとともに、大阪府の支援施策の周知や活用促進も積極的に推進。

人材確保支援として、卒業予定の学生や障がい者・中高年齢層も含めた幅広い層の求職者への合同就職面接会を実施し、求職者への側面支援として推し進めた。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

小規模事業者が抱える経営課題の把握を行い、課題解決を行うことにより、持続的な成長に繋げることができたと考える。持続的な成長に繋げるために、既存取引の維持だけでなく、既存取引を基盤とした新たな販路開拓も必要であり、積極的な自社技術や製品等のPRを行い、新規取引先の開拓を行うことができた。また、経営環境の変化が目まぐるしいなか、人材確保や人材育成による生産性向上や各種事業の遂行により地域経済の活性化に繋がったと考える。

本事業を実施しなかった場合、小規模事業者の持続的な成長の機会が失われ、経営課題の解決に取り組むきっかけが失われる。また、時代背景から目をそむけ、各施策や他企業の取り組み目を向ける意欲が損失し、地域経済の発展、活力向上の機会が失われかねないと考える。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

商業では、市外からの買い物客取り込みも重要な課題であるが、インバウンドを含む市内産業の観光産業の育成、地域資源情報の発信に取り組んでいかなければならない。また、ものづくり企業での経営課題は、いまだ「人材育成・人材確保」であり、生産力を維持していくにあたって大きな課題となっており、人材確保の機会提供やものづくり技術者の技能伝承の支援などにも取り組んでいく必要がある。

人材育成を行ううえで、労働法改正や働き方改革の推進など、労働環境の変化に小規模事業者が対応できていないことが多く、労働環境についての情報収集が必要である。また、人材確保を行うために、小規模事業者が外国人や女性などの人材が活躍出来る労働環境の提供と多様な人材の確保が必要である。

他に、大阪府内において、堺市、大阪市、東大阪市に次ぐ第4位の生産力（製造品出荷額）を誇るものの、他3都市に比べ、市としての全国的な知名度は低いと言わざるを得ず、八尾市のものづくり産業全体をPRし、ブランド力を向上させ、展示会などを通じた技術、製品、サービスの効果的な情報発信とビジネスマッチングの創出が必要である。

与件として、2023年11月に実施した会員調査で、コロナ前（2019年頃）と同水準まで業績が回復している事業所数は全体で56%であり、残り44%の事業所がコロナ前まで業績が回復しておらず、約半数の事業所が厳しい状態である。そのため、事業継続、経営改善が地域経済の活力向上に重要であり、また人材確保、カーボンニュートラル、創業、事業承継、BCPは地域経済を支える重点課題であり、確実に推し進める必要がある。

(5) 次年度の取り組み

2023年11月に当所で実施した会員調査では、約44%の事業所が2019年のコロナ禍前の売上に戻っていないとの結果であり、小規模事業者への「伴走型支援」として、窓口相談時や巡回訪問等によるヒアリング時に経営課題を抽出し、実効性のあるサービス提案を心がけ、経営改善、地域経済の活力向上に繋げる多面的な支援を強化する必要がある。

また、高度・専門的な内容として専門家の見地が必要と判断する場合、経営課題の解決に向けて専門家や各支援機関などとも連携を図りながら支援を進める。当地域の特徴であるものづくり企業の技術向上や課題解決に対しては、（地独）大阪産業技術研究所などの支援機関とも引き続き連携を図りながら、セミナーや個別相談を通じて支援を進める。

他に、以下を支援の柱として設定し、取り組みを融合させながら地域産業の活力向上へ波及させていく。

- ・将来の企業活力の維持・向上に向けた支援
 - ・多様な人材活用を進める支援
 - ・後継者不在や後継者育成など様々な課題を抱える企業に対し、支援機関と連携し課題解決に取り組む。
 - ・八尾市や近隣支援機関等と連携し求人求職マッチング事業を実施し、雇用創出の機会提供を通じて人材不足解消に向けた支援に引き続き取り組む。
 - ・BCP策定を推進し、コロナ禍の状況や大規模災害等発生時の事業継続が図られるよう支援に取り組む。
 - ・ビジネスマッチングの機会創出による販路拡大、地域資源の知名度や魅力向上に向けた支援
 - ・2025年の大阪・関西万博開催における間接的な需要を考慮し、「万博関連事業受注者登録システム」への登録を推奨する支援を行う。
- 「カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた支援」
- ・中小企業において、脱炭素経営を促進することで取引機会の確保ができる要因にもなるため、中小企業の脱炭素へ向けた取り組みの支援を行う。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 八尾商工会議所

I 経営相談支援事業					
支援のポイント・成果					
<p>小規模事業者の相談ニーズが高い金融支援については、円安や物価高騰による諸経費支払いのための手元資金確保など新たな経営課題の解決に向けた支援を行った。</p> <p>次に事業計画支援については、販路開拓を行うための、新たな取り組みや生産性向上に向けた実効性のある経営計画の策定、遂行に向けたアドバイスを進めた。IT支援については、事業者のデジタル化による販売促進や生産性向上のため施策普及を通じた実装化に向けての支援、アドバイスをを行った。</p> <p>さらに労務支援として就業規則の作成や見直しなどを中心に支援を行うとともに、事業承継の課題を抱える事業者へは事業承継の専門家と連携し、課題解決に向けて支援を行った。</p> <p>また、BCP策定支援として簡易版BCP「これだけはシート」の普及と策定に向けたアドバイスを行うとともに、本格的なBCPの策定の必要性を理解する一助となった。</p> <p>【代表事例】</p> <p>空調設備や換気設備工事を主業とする小規模事業者に関する支援事例である。支援内容としては、取引先からの大型受注が確定し、先行支払い資金としての手元資金の確保を行いたいなどの相談を受け、現状の課題等のヒアリングを行った。ヒアリングの結果、先行支払い資金だけでなく、材料費高騰の影響も大きく、特に銅線や電線の値上がり著しいものであった。</p> <p>支援内容としては、手元資金の確保を行うため、金融支援を通じたマル経融資制度の活用を提案し、手元資金の確保を行った。また、資金調達を行う手段として、民間金融機関との取引を希薄であったため、地元信用金庫を紹介し、取引を開始し、資金繰り相談などに活用している。</p> <p>支援結果として、資金繰り改善や売上増加を図るための資金調達を行うことができ、事業拡大に向けた金融機関取引を開始した。今回、資金確保を行うための基盤作りや金融機関取引のノウハウを当所の支援により、習得し今後の事業活動を行うための一助となることができた。</p>					
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	365	378	103.6%	4
支援機関等へのつなぎ	支援数	43	46	107.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	36	42	116.7%	4
金融支援（経営指導型）	支援数	61	60	98.4%	3
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	1		3
資金繰り計画作成支援	事業所	0	0		
記帳支援	事業所	45	46	102.2%	5
労務支援	支援数	26	21	80.8%	4
人材育成計画作成支援	事業所	0	0		
マーケティング力向上支援	事業所	9	6	66.7%	3
販路開拓支援	支援数	2	0	0.0%	1
事業計画作成支援	支援数	78	82	105.1%	4
創業支援	事業所	21	31	147.6%	4
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	28	26	92.9%	4
コスト削減計画作成支援	事業所	11	13	118.2%	4
財務分析支援	事業所	0	0		
5S支援	事業所	0	0		
IT化支援	事業所	17	17	100.0%	3
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		
事業承継支援	事業所	8	10	125.0%	3
災害時対応支援	事業所	0	0		
フォローアップ支援	事業所	58	48	82.8%	3
結果報告	事業所	314	308	98.1%	3

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

経営指導員による巡回及び窓口相談支援の中で、高度な専門的知識を必要とする課題・問題については、経営指導員が前捌きとして問題・課題の切り分けを行い、専門家と連携することで、より効果の高い相談・支援を行なった。個別に相談するには敷居が高いイメージのある各分野の専門家を活用することで、事業者との今後の信頼関係構築の一助になっている。

法律問題は、企業運営に大きな影響を与える高度な専門的知識を必要とする分野である。また税務手続き等についても小規模事業者にとって重要なウェイトを占め、上期源泉所得税納付や年末調整、所得税・消費税の確定申告など関連する諸手続きを支援。数値から見える経営状況の把握や適切な諸手続きを通じて、納税意識や適正な申告の啓発にも役立った。ITについても、セミナー等を複数回開催し、デジタル化による生産性向上や販路開拓を行うための取組みを支援した。

また小規模事業者の各種補助金申請に向けた事業計画策定支援として、より実効性のある具体的な内容へ専門家と連携しながらアドバイスを行うなど、事業計画策定に対する課題解決の一助となった。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法務相談	継続	相談件数	9	11	122.2%	4
税務相談	継続	相談件数	350	458	130.9%	5
金融相談	継続	相談件数	10	0	0.0%	1
労務相談	継続	相談件数	14	11	78.6%	3
その他相談	継続	相談件数	187	162	86.6%	3

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>多くの事業者の課題として挙げられる販路開拓、人材確保・、人材育成などの経営課題の解決に向け支援事業を進めた。</p> <p>八尾地域企業のPRと販路開拓支援、地域密着型小売店舗の支援を中心に進め、八尾の地域資源を活用した商品のブランド化を推し進めた。また、大型展示商談会の開催を通じて、大阪府内の出展企業のビジネスマッチング支援に資することができ、新製品や技術のPR、出展者同士の繋がりや他社製品等の情報収集等にも寄与することができたと考ええる。</p> <p>また、面的支援として、ものづくり技術、BCP、階層別人材育成、脱炭素など、多くの中小事業者が抱える課題解決に資するセミナーを開催し、大阪府の関連支援施策の周知や活用促進も同時に進めた。</p> <p>人材確保支援として、合同就職面接会を実施し、求職者への支援として就職支援アドバイザーが助言を行い、求職者の採用率向上に努めるとともに、外国人材や女性従業員の活躍推進し、多様な人材確保に向けた情報提供を行った。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	地域資源発掘ブランド化推進事業	15	15.0	100.0%	93.3	販売会に出店したことにより売上が増加した事業所数	12	12	100.0%	4
○	ものづくり技術向上支援事業	66	82.0	124.2%	86.0	(地独)大阪産業技術研究所を利用したいという事業所	20	23	115.0%	3
○	早期離職防止・定着支援事業	48	49.0	102.1%	100	従業員の早期離職防止・定着に向けた取り組み意欲が向上した事業所の割合(%)	80	94.4	118.0%	3
○	労務管理・育成支援事業	20	48.5	242.5%	93.6	雇用管理のポイントに対する取り組み意欲の向上割合(%)	80	91.5	114.4%	4
○	若手従業員育成支援事業	26	27.5	105.8%	100	セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化(行動意欲が向上した人の割合)	80	91.7	114.6%	4
○	グローバル人材確保・定着支援事業	20	31.5	157.5%	93.7	外国人労働者受け入れに伴う自社の職場環境の整備を行う意欲が向上した事業所の割合(%)	80	86.1	107.6%	3
○	女性従業員活躍推進支援事業	20	22.5	112.5%	91.1	女性従業員が活躍し、働きやすい環境整備を行う意欲向上割合(%)	80	82.6	103.3%	4
○	事業承継支援事業	25	43.5	174.0%	90.2	今後、事業承継を意識した経営に取り組む割合	80	93.4	116.8%	3
○	事業継続計画(BCP)策定支援事業	20	20.0	100.0%	100	BCPセミナー当日、簡易版BCPを策定した企業数	20	19	95.0%	3
○	脱炭素経営へ向けた取組み支援事業	20	33.0	165.0%	93.9	脱炭素・カーボンニュートラルへの取組みを着手した企業数	5	5	100.0%	4
○	万博関連事業受注者登録支援事業	20	31.5	157.5%	80.6	「万博関連事業受注者登録システム」に関する理解度	80	100	125.0%	3
(2) 広域事業(幹事事業のみ)										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	ビジネスチャンス発掘フェア2023	140	153	109.3%	73.2	名刺交換等をはじめ、商談、紹介などの引合件数	10500	10259	97.7%	3
○	求人確保支援事業	18	20	111.1%	75	求人事業所と求職者とのマッチング数	5	7	140.0%	3

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

八尾商工会議所

事業名		地域資源発掘ブランド化推進事業							
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	①2006年4月からスタートした「地域団体商標制度」、2007年6月施行の「地域資源法（中小企業地域産業資源活用促進法）」以降から、全国各地では地域資源を活用したブランディングの取り組みが活発化している。地域資源を活用した新たな商品・サービスを開発することで、取引や雇用を拡大し、地域経済を活性化することを目的としている。 ②一方、八尾市内においても八尾枝豆や若ごぼう等の特産品はあるものの、八尾市を代表し全国へ発信できる商品がまだ数少ないのが現状である。 ③八尾市内を代表するような地域資源を活かした新たな特産品を「八尾コレクション」として認定し、お土産やギフトとして販売できる商品を開発・発掘する。（2～3年毎にセレクションを実施） ④八尾の魅力発信を目的に、八尾コレクション受賞店舗を中心とした市内店舗等の売上拡大に向けたPR支援を実施する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	①業種・事業所数等 飲食店（約1,300）・食品関連製造小売業（約2,200） 合計約3,500事業所 ②主なターゲット 地域資源を活用した商品を製造・販売している店舗							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①八尾の“ええもん！うまいもん！”フェア ～八尾コレクション in LINOAS～ （八尾コレクション受賞商品等販売会） 【場 所】 LINOAS 2階 【出品店舗数】 5店舗（うち3店舗は1日のみ出店） 【開催日時】 2023年5月27日(土)・28日(日) 各日10:00～18:00 【PR者数】 2,083名（チラシ配布数）※購入客数333名 ②八尾の“ええもん！うまいもん！”フェア ～八尾コレクション in LINOAS～ （八尾コレクション受賞商品等販売会） 【場 所】 LINOAS 2階 【出品店舗数】 5店舗（うち1店舗は1日のみ出店） 【開催日時】 2023年11月18日(土)・19日(日) 各日10:00～18:00 【PR者数】 2,041名（チラシ配布数）※購入客数382名 ③発掘フェア（八尾コレクション受賞商品等販売会） 【場 所】 マイドームおおさか 【出品店舗数】 5店舗 【開催日時】 2023年11月29日(水)・30日(木) 各日10:00～17:00/10:00～16:00 【PR者数】 929名（チラシ配布数）※購入客数59名 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	八尾市産業政策課あきんど・ものづくり支援室や八尾市観光協会との連携。大型商業施設で開催された八尾市PRイベントに際し、八尾コレクション受賞商品の紹介を行った。							
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	93.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	八尾コレクションに取り組んだことで、支援対象企業が自社商品のブランド化を意識するようになり、商品のパッケージや包装方法等の変更を行った。また、商品の受注量が増加したことにより、従業員を増やして生産する必要があるなど、地域の雇用の創出等にもつながった。							
		代表指標	販売会に出店したことにより売上が増加した事業所数						
		数値目標	12	実績数値	12	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	販売会を中心に、八尾コレクション受賞商品の販売が増加。特に2022年度のグランプリ商品については受注が週に200～500個程度あるなど、大幅な売上の増加につながった。							
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	2023年に八尾市内大型商業施設にて実施した当事業（八尾コレクション）の知名度アンケートでは、5割程度が知っていると回答。徐々に知名度は向上しているものの、引き続き周知活動が必要である。一方で、市外に向けても発信していく必要がある。八尾市内外で販売会を中心とした周知活動を継続して行うことで、大阪府内全域でのブランド周知の底上げが必要である。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)	5,000	目標値(実績)	5,053	目標達成度	101.1%		
		●販売会等実施によるPR数 販売会合計 5,000名							

八尾商工会議所

事業名		ものづくり技術向上支援事業							
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2021年度中小企業白書によると「製造業」において人員が「不足」している企業が3割程度存在するとなっており、非正規従業員等をより積極的に活用しなければいけないことが予想され、内部で教育する時間を確保することは非常に難しいのではないかと推測されるため、当所にて教育の場を設ける。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	①業種・事業所数等 八尾市内製造業者2,731社 ②主なターゲット 管内中小・小規模事業者の内従業員教育及び技術力向上を目指している事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①2023年度第1回ものづくりセミナー [テーマ] 知って得する樹脂のこと！樹脂材料と加工の基礎講座 [日時] 8月28日(月) 18:00～20:00 [場所] 八尾商工会議所 3階 大ホール1 [講師] (地独)大阪産業技術研究所 加工成形研究部 [内容] 樹脂材料と加工の基礎 [参加者] 18社27名(支援企業数21社)							
		②2023年度第2回ものづくりセミナー [テーマ] 知っておくべき加工技術！プレス加工の基礎講座 [日時] 9月15日(金) 18:00～20:00 [場所] 八尾商工会議所 3階 大ホール1 [講師] (地独)大阪産業技術研究所 加工成形研究部 精密・成形加工研究室 [内容] プレス加工の基礎 [参加者] 27社52名(支援企業数33.5社)							
		③2023年度第3回ものづくりセミナー [テーマ] 正しく知って、正しく使う！鉄鋼材料の基礎講座 [日時] 10月27日(金) 18:00～20:00 [場所] 八尾商工会議所 3階 大ホール1 [講師] (地独)大阪産業技術研究所 金属材料研究部 [内容] 鉄鋼材料の基礎 [参加者] 22社40名(支援企業数27.5社)							
＜事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載＞									
	①府施策連携	大阪府ものづくり支援課、(地独)大阪産業技術研究所と連携し、事業の企画・テーマ設定・運営等を行う。また、同研究所の利用促進に向けた周知や情報提供を行い、企業の橋渡しを進める。							
	②広域連携								
	③市町村連携								
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	66.0	総支援企業数(実績)	82.0	支援実績率	124.2%	満足率	86.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	・樹脂材料や加工に関するテーマは、過去にも数回取り上げこともあり、ニーズは高い。また、樹脂を取り扱う管内の製造業者の母数も多いことから、継続して人事育成を目的に情報提供する必要がある。 ・過去のセミナーテーマのニーズ調査で、プレス加工や塑性加工のニーズは高く、今回もプレス加工の方法や加工に係る力学などをテーマに設定したことで、参加者数が増加。参加者の中からは、金型加工に係るプレス加工の力学、リスクが知れてよかったなどの声が多く、プレス加工に関しては、一定の人材育成が図れた。 ・鉄鋼材料は過年度のものづくりセミナーのテーマとして取上げたことがなく、新たなテーマでの試みであったが、金属加工関連の事業所が多く参加した。金属については、鉄鋼材料などの性質に関するテーマより、金属加工に関するテーマの方がニーズが高いことが窺える。							
		代表指標	(地独)大阪産業技術研究所を利用したいという事業所						
		数値目標	20社	実績数値	23社	目標達成度	115%		

達成度	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ・1社から複数名の従業員の参加を促している事業所もあり、人材育成を目的として、当セミナーを活用している事業所が増えている。 ・樹脂材料や加工に関するセミナーを受講し、知識構築を行うことができた事業所から、今後のセミナーテーマの要望などの声をいただき、当セミナーの重要性について把握できた。 					
	その他目標値の実績	目標値		目標値		目標達成度	
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂材料と加工の基礎をテーマとしたが、専門的な分野の説明が基本であり、実務分野の説明を増やしてもらう必要があった。 ・当所が行った会員調査など、事業者が知りたい加工技術や材料、分析のニーズが一定把握できていることから、今後は過去の実績だけでなくニーズ調査に基づき、テーマ設定を行う必要がある。 ・個別支援では、セミナーによる情報提供だけでなく、製造現場の生産性向上を目的とした取組みを側面的に支援する必要がある、セミナー受講者を中心に、受講後の事後フォローを能動的に行う必要がある。 					

八尾商工会議所

事業名		早期離職防止・定着支援事業 (管理職向け組織力強化セミナー、中堅社員スキル向上セミナー)						
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>従業員の早期離職の防止をテーマに管理職・中堅社員を対象とした階層別研修を実施。人材は最も重要な経営資源の1つであるが、3割以上の若手従業員が就職後3年以内に早期退職をしている。</p> <p>管理職、中堅社員は就職した若年者の早期離職を防ぐために教育体制の構築、コミュニケーション手法の見直し、若年者の特性の理解、監督者としての役割の理解、時間の創出、チームの運用が必要である。</p> <p>中堅社員については、会社の方針を現場で実行し、上司のフォロー・部下の育成を行う為のスキルを習得する必要がある。また、若手社員の育成において社内で直接指導にあたる中堅社員を育成することにより、若手社員の育成・定着を図る。</p> <p>管理職については、必要なマネジメント力を身に付け、他の参加者（事業所）の取り組み等を知ることにより、新たな気付きや自社で抱えている問題解決を図る。</p> <p>また、正しい人事評価制度の構築（見直し）を行うことにより、若者の採用、早期離職、組織の基盤強化に繋がる。</p> <p>昨今の人手不足問題や、働き方改革等により生産性の向上が求められており、管理職が業務効率の改善プランを立案し、中堅社員が若手社員をサポートしながら遂行することで、円滑な職場環境を築き、人材の定着に繋げる事を目的に開催する。</p>						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内小規模事業者7,630事業所（全業種）を中心に、離職問題や課題解決に向けて悩んでいる事業者をはじめ、離職防止や階層別従業員研修に関心を持つ事業者。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【2023年度】</p> <p>【中堅社員向けスキル向上セミナー】として2回開催</p> <p>日時 【第1回目】11月 7日（火）14:00～16:30 【第2回目】11月10日（金）14:00～16:30</p> <p>場所 八尾商工会議所 3階 大ホール</p> <p>内容 【第1回目】採用市場とデータから見る若手社員の傾向 組織で良い人間関係を築くポイント 【第2回目】部下・後輩を育成する 組織の生産性を向上させる</p> <p>参加者 【第1回目】22社25名【第2回目】16社19名 【支援企業数】24.0社</p> <p>講師 (株)ヴェイン</p> <p>【管理職向け組織力強化セミナー】として3回開催</p> <p>日時 【第1回目】 8月30日（水）18:30～20:30 【第2回目】 9月 6日（水）18:30～20:30 【第3回目】 9月13日（水）18:30～20:30</p> <p>場所 八尾商工会議所 3階 大ホール</p> <p>内容 【第1回目】定着する人材を採用する 【第2回目】管理職として必要な役割とは 【第3回目】管理職に求められるスキルとは</p> <p>参加者 【第1回目】23社25名【第2回目】19社21名【第3回目】14社16名 【支援企業数】25.0社</p> <p>講師 (株)ヴェイン</p>						
		<p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>						
		①府施策連携	企画・運営について大阪府と協議を行った上で実施。また、セミナー開催にあたり大阪府（OSAKAしごとフィールド）から依頼があった場合に各種事業案内を時間を設けて実施。					
	②広域連携							
	③市町村連携							
	④相談相乗							
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	48.0	総支援企業数(実績)	49.0	支援実績率	102.1%	満足率	100.0%

事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	94.3%の事業所が、セミナーを受けた後の意識の変化（セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化（行動意欲が向上した人の割合））があったと回答。 ※管理職セミナー：96.1%、中堅社員セミナー：92.6% 参加者の声 ・若手社員をあまり採用しない分、採用した際には定着について考える必要があると感じた。 ・従業員との関わり方、コミュニケーションの取り方の再確認ができた。 ・指導する側のスキル向上も課題と感じた。					
	代表指標	セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化（行動意欲が向上した人の割合）					
	数値目標	80%	実績数値	94.4%	目標達成度	118.0%	
実施結果	成果の代表事例	若手社員の早期離職の理由として、上司・先輩とのコミュニケーション不足や指導・教育不足が要因となるケースが多いが、セミナーを通じて若手社員が抱える不安や課題を管理職・中堅社員側の目線で解消する方法を学ぶことができた。					
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度	
課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本セミナーについても早期離職の防止をテーマとし、育成についてもテーマに組込んでいるが、特に昨今は時間外労働を減少させるため、従業員の生産性向上についても注目されているため、生産性向上についての内容についても時間を取り、学んでもらう必要がある。 また、2023年度の八尾市内事業所を対象とした調査において、経営上の課題について聞いたところ「人材確保」が55.8%と最も多く、次いで「人材育成」43.6%となり、人材に関する課題は以前として上位に上がっている。						

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	25.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	中堅社員としての役割、上司と部下とのコミュニケーションの取り方などを学び、若手社員早期離職の防止に関する取組みについて学ぶことができた。							
	指標	セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化（行動意欲が向上した人の割合）							
	数値目標	80%	実績数値	92.6%	目標達成度	115.8%			
その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	23.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	108.7%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	管理職としての役割・スキルを理解し、若手社員の早期離職を防止を目的とした信頼関係の構築方法や、指導・マネジメント方法について学ぶことができた。							
	指標	セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化（行動意欲が向上した人の割合）							
	数値目標	80%	実績数値	96.1%	目標達成度	120.1%			
その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				

八尾商工会議所

事業名		労務管理・育成支援事業（労務対策セミナー）							
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	労働法改正や働き方改革の推進などの労働環境の変化による、会社と労働者間での捉え方や認識の齟齬、誤った情報により社内に混乱やトラブルが発生する可能性があるため、問題を正しく理解し、労働環境の整備の一助となるようセミナーを開催する。また、最新の働き方改革関連法等の法改正の周知を行い内容を把握し、適正な雇用管理につなげていただく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	①業種・事業所数等 全業種対象(八尾市内事業所数10,930社) ※令和3年度経済センサス基礎調査より ②主なターゲット 代表者・労務管理者等、従業員を雇用する事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【2023年度】 労務対策セミナー「知っておくべき労務に関するルールや最新情報を解説」 【日時】2024年2月19日(月) 14:00～16:30 【場所】大ホール1 【内容】①最新の労働法改正、トピックス ②最低賃金の上げや社会保険の適用拡大の影響について 講師：社会保険労務士法人ダブルリード 【参加者】45社52名 【支援実績数】48.5社</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
	①府施策連携	企画・運営について大阪府と協議を行った上で実施。 また、セミナーの開催にあたり大阪府から依頼があった場合に各種事業案内の時間を設けて実施。							
	②広域連携								
③市町村連携									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	48.5	支援実績率	242.5%	満足率	93.6%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>●2023年度のセミナーの満足率は、「満足」「やや満足」の回答が93.6%という結果を得ることができた。</p> <p>●「自社での雇用管理・改善・見直し等の取り組み意欲向上度」について5段階でお聞きした回答結果は、「意欲が向上した」「やや意欲が向上した」の回答が52名中48名(92.3%)という結果を得ることができた。</p> <p>●「セミナーで得た情報は事業運営に活用できるか」というアンケートについては、「すぐに活用できる」38名(73.1%)「将来活用できそう」14名(26.9%)と参加者全員が事業に活用できる内容だったと回答。</p>							
	代表指標	雇用管理のポイントに対する取り組み意欲の向上割合(%)							
	数値目標	80%	実績数値	91.5%	目標達成度	114.4%			
	成果の代表事例	労働条件の明示ルールについて2024年4月1日から適用となるが、まだ対応できていないや法改正について知らなかったと回答した事業所23社全てにおいて、今回のセミナー内容は活用できるものであると回答し、取り組み意欲についても向上したと回答。また、すぐに取り掛かりたいとの声も多くあった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	2019年4月より順次施行されている働き方改革関連法において、参加事業所での取り組みや周知も進んできてはいるが、内容の把握や小規模事業者等、従業員が少ない事業所では対応に割ける人員も少なく特に対応できていない事業所も多い。 ※今回のアンケートで2024年4月1日からの労働条件の明示ルールの変更への対応状況については、「全く対応できていない」、「法改正の内容を知らなかった」が23社(44.2%)であり、適用まで残り1カ月弱にもかかわらず約半数の参加事業所が未だ対応が完了していないことがわかった。そのため、今後についても適正な雇用管理につなげていただくために継続的に情報提供と対応に向けたフォローが必要となる。							

八尾商工会議所

事業名		若手従業員育成支援事業 (若手社員向け早期戦力化セミナー)							
想定する実施期間		2015 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>3割以上の若手社員が就職後3年以内に退職する早期離職が問題となっており、若手社員は十分なキャリアを積まずに退職することで、正社員として再雇用されることが難しくなり、非正規雇用の増加に繋がる悪循環が生まれている。</p> <p>事業所内で研修や教育を行うも、業務手法の内容が多くなり、業務の考え方・進め方といった内容は少ない。</p> <p>そのため、若手社員に対し仕事の考え方や進め方といった研修を実施。主な方向性として、経営者が若手社員に期待していることを理解し、経営者と若手社員の考え方の溝を埋め、業務の目的、自身の役割も理解することで生産性の向上を図るとともに、業務に対するモチベーションも向上し、若手社員の早期離職の抑制につなげる。</p> <p>また、従業員数の少ない事業所においては同世代の従業員が少なく、若年者の同じ悩みを共有する者がいないため離職に繋がるケースもある。</p> <p>本セミナーでは、グループディスカッションを取り入れ、同世代・同じ悩みを共有できる人材との交流を深めることにより、モチベーションを高めていく。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内小規模事業者7,630事業所(全業種)を中心に、離職問題や課題解決に向けて悩んでいる事業者をはじめ、離職防止や階層別従業員研修に関心を持つ事業者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【2023年度実績】</p> <p>【若手社員長期戦力化セミナー】として2回開催</p> <p>日時 【第1回目】12月1日(金)14:00~16:30 【第2回目】12月11日(月)14:00~16:30</p> <p>場所 八尾商工会議所 3階 大ホール</p> <p>内容 【第1回目】コミュニケーションを円滑にするために、報連相について、ストレスとの向き合い方、仕事のプロフェッショナルとは 【第2回目】仕事の振り返り、PDCAサイクルの進め方 タイムマネジメント</p> <p>参加者 【第1回目】24社36名 【第2回目】24社36名 【支援企業数】27.5社</p> <p>講師 (株)インスパイアーズ</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携	企画・運営について大阪府と協議を行った上で実施。また、セミナー開催にあたり大阪府(OSAKAしごとフィールド)から依頼があった場合に各種事業案内を時間を設けて実施。						
	②広域連携								
	③市町村連携								
	④相談相乗								
事業全体の実績/目標	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	26.0	総支援企業数(実績)	27.5	支援実績率	105.8%	満足率	100.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>91.7%の事業所が、セミナーを受けた後の意識の変化(セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化(行動意欲が向上した人の割合))があったと回答。</p> <p>参加者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の振り返り方を知り、実際にそれをできたので有意義と感じた。 ・すでに実践していることもあったが実践できていない事も明確になった。 ・上司や同じ部署の人とのコミュニケーションの取り方がわかった。 ・自己分析、相手の立場に立つなど基本が重要だと改めて思いました。 ・グループワークで他の人と話をして自分のコミュニケーション能力に少し自信がついた。 							
	代表指標	セミナー内容を踏まえた参加者の意識の変化(行動意欲が向上した人の割合)							
	数値目標	80%	実績数値	91.7%	目標達成度	114.6%			

達成度	成果の代表事例	若手社員の早期離職の理由として、上司・先輩とのコミュニケーション不足や指導・教育不足が要因となるケースが多く、今回のセミナー（アンケート結果）を通じて若手社員から上司・先輩へコミュニケーションをとる方法や仕事の進め方について学び、早期離職の要因を解消することが出来た。				
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本セミナーでは、コミュニケーションや仕事の進め方についてもテーマに組込んでいるが、仕事の進め方の中で若手社員が必要となるPDCAやハウレンソウなどの重要性を認識し、生産性を向上させる手法も2024年度はセミナーの中で時間を長く取り「早期離職防止」はもちろん、「人材育成」の部分に関しても課題解決に導き内容でテーマを検討していく。				
		2023年度の八尾市内事業所を対象とした調査において、経営上の課題について聞いたところ「人材確保」が55.8%と最も多く、次いで「人材育成」43.6%となり、人材に関する課題は以前として上位に上がっている。				

八尾商工会議所

事業名		グローバル人材確保・定着支援事業（外国人人材活用セミナー）							
想定する実施期間		2019 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	人手不足が深刻化している中、政府の外国人留学生の受け入れ拡大の動きもあり、市内事業所においても外国人労働者雇用に関心が高まっている。日本に來日する外国人留学生の活用について、異なる経験・価値観・考え方から様々な視点から課題解決に取り組める可能性も高まっている。しかし、外国人留学生を雇用してみたいと考えるものの、法制度、ビジネス慣習の違いなどを高いハードルと感じ、躊躇して外国人留学生の雇用まで至らないケースが多い。そのため、市内事業所が外国人留学生の積極的な活用を検討できるよう、外国人留学生の採用意欲向上を図り、また定着支援も併せて行うことで、採用前・採用後の外国人留学生を雇用するためのノウハウを修得する必要がある。今後、市内事業所が外国人留学生を雇用するにあたって、正しい関連制度の認識を持ち、受け入れ態勢を整備し、外国人留学生が定着し、本来の力を発揮できる環境を整えることを目的に開催する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	①業種・事業所数等 全業種対象(八尾市内事業所数10,930社) ※令和3年度経済センサス基礎調査より ②主なターゲット 現在、外国人労働者を雇用または今後外国人労働者の雇用を検討している事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【2023年度】 外国人材活用セミナー「外国人雇用の最新情報と特定技能など各種制度のポイント」 【日時】2023年5月22日(月) 14:00～16:30 【場所】大ホール1 【内容】「外国人雇用の最新情報と特定技能・留学生等それぞれ制度の違いについて」 ①外国人材が必要な背景と最新の入国状況 ②外国人労働者のそれぞれの制度の違い ③日本や大阪府の外国人材の労働状況 講師：行政書士法人第一綜合事務所 「外国人材の雇用・定着のポイント」 ①外国人労働者の雇用、職場定着の手法について ②外国人材を受け入れている企業の取り組み事例紹介 講師：協同組合関西技術センター 八尾市国際交流センターの事業所向け定着支援 講師：(公財)八尾市国際交流センター 【参加者】29社36名 【支援実績数】31.5社							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	企画・運営について大阪府と協議を行った上で実施。						
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	31.5	支援実績率	157.5%	満足率	93.7%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	●2023年度のセミナーの満足率は、93.7%という結果を得ることができた。 ●「外国人労働者受け入れ体制構築の意欲向上度」について5段階でお聞きした回答結果は、「意欲が向上した」「やや意欲が向上した」の回答が36名中31名(86.1%)という結果を得ることができた。 ●セミナーで得た情報は事業運営に活用できるかというアンケートについては、「すぐに活用できる」12名(33.3%)「将来活用できそう」24名(66.7%)と参加者全員が事業に活用できる内容だったと回答							
		代表指標	外国人労働者受け入れに伴う自社の職場環境の整備を行う意欲が向上した事業所の割合(%)						
		数値目標	80%	実績数値	86.1%	目標達成度	107.6%		
	成果の代表事例	●参加事業所から新たに技能実習生の採用を考えており、採用の支援団体を紹介して欲しいとの相談があり、当所専門相談員をご紹介し、採用に向けて進めている。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	八尾市国際交流センターにもご登壇いただき支援内容をご紹介いただいたが、円安等の複合的な影響により、日本への外国人の就労者の減少が懸念されており、八尾市内の事業所に就労する外国人就労者の安定的な定着を図るためにも八尾市国際交流センターと連携し、外国人の生活から就労までの相談を支援する。また、外国人材の雇用には法規制や事務手続き。慣習等を理解したうえで適切に受け入れる必要があり、正しい知識がないまま雇用すると資格外活動違反となる可能性もある。そのため、採用時に気を付けるべきことや、採用後に定着するように取り組むべきことなど外国人材の適切雇用管理に繋げていただくため事例等の紹介を交えた内容でセミナーを開催する。							

八尾商工会議所

事業名		女性従業員活躍推進支援事業（女性活躍推進セミナー）							
想定する実施期間		2022 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2022年4月に「女性活躍推進法」における従業員100人以上の企業を対象に、女性活躍に関する自社の状況把握/課題分析・行動計画の策定・女性活躍に関する情報の公表が義務付けられた。また、7月には、従業員300人以上の企業を対象に、働く男女の賃金格差の公表が義務付けられ、企業は早急に「女性活躍」をテーマに対応していく必要がある。現状、従業員100人未満の企業については努力義務であるが、今後段階的に義務化されることが考えられる。女性の活躍推進は政府の成長戦略の中核におかれ、働き方改革の一端を担っている。しかしながら、中小企業は、育児や介護との両立支援、テレワークなど柔軟な働き方の促進、女性の健康問題への対応など、女性の定着・活躍推進に必要な就業環境の整備に課題を抱えている。また、大阪府の女性の就業率は全国で45位であり、女性の管理職比率は低い状態にとどまっており、社内環境の整備を含む働く女性のキャリアアップ支援が必要とされている。そこで、女性が職場内で働きやすい環境を整え定着率を向上させ、能力に見合った人事制度の構築を行う事を目的に、女性従業員のキャリアアップや定着率の向上、女性従業員が働きやすい職場の環境づくり等について活用いただける制度や事例の紹介をテーマにセミナーを実施。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	①業種・事業所数等 全業種対象(八尾市内事業所数10,930社) ※令和3年度経済センサス基礎調査より ②主なターゲット 代表者・労務管理者等、女性従業員を雇用している事業所							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【2023年度】</p> <p>女性活躍推進セミナー「女性の力が企業を変える～人材確保・業績アップの人事戦略～」</p> <p>【日 時】2023年8月25日(金) 14:00～16:00</p> <p>【場 所】八尾商工会議所 3階 大ホール1</p> <p>【内 容】女性従業員の定着とキャリアアップ形成</p> <p>①労働市場データから見る女性活躍推進の課題</p> <p>②働きやすい職場環境の整備による定着率の向上</p> <p>③キャリアアップするための組織の構築</p> <p>④中小、小規模事業者の取り組み事例紹介</p> <p>⑤定着を支援する労働法や認定制度</p> <p>講師：(株)インスパイアーズ</p> <p>【参加者】22社23名</p> <p>【支援実績数】22.5社</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
	①府施策連携	企画・運営について大阪府と協議を行った上で実施。 また、セミナー当日に大阪府より広報依頼のあったチラシ等情報提供の資料を配架し事業案内を行った。							
	②広域連携								
③市町村連携									
④相談相乗									
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	22.5	支援実績率	112.5%	満足率	91.1%	
事業全体の実績/目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>●2023年度のセミナーの満足度は、「満足」「やや満足」の回答が22.5社中20.5社(91.1%)という結果を得ることができた。</p> <p>●「女性従業員が活躍し、働きやすい環境整備を行う意欲向上度」について5段階でお聞きした回答結果は、「意欲が向上した」「やや意欲が向上した」の回答が23名中19名(82.6%)という結果を得ることができた。</p> <p>●セミナーで得た情報は事業運営に活用できるかというアンケートについては、「すぐに活用できる」6名(26.1%)「将来活用できそう」17名(73.9%)と参加者全員が事業に活用できる内容だったと回答。</p>							
	代表指標	女性従業員が活躍し、働きやすい環境整備を行う意欲向上割合(%)							
	数値目標	80%	実績数値	82.6%	目標達成度	103.3%			
成果の代表事例	●2社からくるみん認定に向けて取り組むと回答があり、参加事業所の女性活躍の取り組み意欲向上につながった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取り組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	2016年4月から「女性活躍推進法」が施行され、八尾市内の事業所でも企業における取り組みが進みつつあるが、小規模事業者の女性従業員が働きやすい環境整備が進んでいないのが現状である。そこで、2024年度は事業所で勤務する女性従業員が定着するための職場環境の整備や、ゆくゆくは管理職へと育て上げるための仕組みづくりについて事例や統計データをもとに傾向や対応方法について、また女性従業員が働きやすい環境を整えるために事業主も必要な公的制度の知識や活用できる補助金などの周知を行うためにセミナーを開催する。							

八尾商工会議所

事業名		事業承継支援事業
想定する実施期間		2022 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	①中小企業・小規模事業者において経営者の高齢化が進んでいる中、事業承継問題を放置すると、廃業の急増により2025年頃までに約650万人の雇用と約22兆円の国内総生産（GDP）を失う可能性がある。 ②円滑に事業承継を進められるよう、セミナーで事業承継に必要な知識等を身に付けていただく。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	●業種・事業所数等 当所会員約3,500社の内、市内小規模事業所約2,000社 ●主なターゲット 事業承継を検討中の事業所（60歳以上の経営者がメイン）
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	①事業承継対策セミナー（基礎編） ▼事業承継にまだ着手していない方、着手してまだ間もない方を対象とした「基礎編セミナー」を開催し、事業承継についての基礎的な知識を解説した。 ▼受講者アンケートを実施し、相談希望事業所には必要に応じて大阪府事業承継・引継ぎ支援センターと連携した個別支援を実施した。 ②事業承継対策セミナー（実践編） ▼事業承継を進めたいが具体的に何をすればいいかわからない事業所に向けた「実践編セミナー」を開催し、事業承継に着手している中で発生する注意点やポイント等を解説した。 ▼受講者アンケートを実施し、相談希望事業所には必要に応じて大阪府事業承継・引継ぎ支援センターと連携した個別支援を実施した。 ■2023年度（令和5年度） ①事業承継対策セミナー（基礎編） 【開催日時】2023年7月19日（金） 18:30～20:00 【開催場所】八尾商工会議所 3階 大ホール1 【内 容】1) 事業承継の必要性 2) 事業承継の3つの方法 3) 事業承継を成功させるコツ →親族内承継や従業員承継、M&Aにおける基本的な知識や成功談、注意すべき点について実際に支援した企業の事例を解説いただいた。 【講 師】大阪府事業承継・引継ぎ支援センター 【参加者数】セミナー全体：22社27名 内、小規模事業者数（支援事業所数）：23.5社 ②事業承継対策セミナー（実践編） 【開催日時】2023年8月22日（火） 18:30～20:00 【開催場所】八尾商工会議所 3階 大ホール1 【内 容】1) 3つの事業承継の進め方 2) 事業承継計画の策定について 3) 事業承継における税務の知識 →事業承継計画書の作成方法など事業承継を進めるための具体的な手法について、事例等を交えながら、解説いただいた。 【講 師】大阪府事業承継・引継ぎ支援センター 【参加者数】セミナー全体：20社24名 内、小規模事業者数（支援事業所数）：20社
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>
①府施策連携	企画・運営について大阪府と協議を行った上で実施。また、セミナー開催にあたり大阪府から依頼があった場合に各種事業案内を時間を設けて実施。	
②広域連携		
③市町村連携		
④相談相乗	セミナー受講者に対し、ヒアリングシートを用いて、課題把握や事業承継の進捗を確認し、事業承継の専門家と連携しながら、個別支援を行った。	

事業全体の 実績／目標 達成度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	25.0	総支援企業 数(実績)	43.5	支援 実績率	174.0%	満足率	90.2%
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	▼基礎編の受講者は23.5社、実践編の受講者は20社、延べ43.5社が受講 ▼基礎編の満足率は90.9%、実践編の満足率は89.4%、平均満足率は90.2%							
	代表指標	今後、事業承継を意識した経営に取り組む割合							
	数値目標	80.0%	実績数値	93.4%	目標達成度	116.8%			
成果の代表事例	▼セミナー受講事業所の事業承継を意識した経営に取り組む割合は、基礎編が96.3%、実践編が90.5%、平均91.9%という結果となった。 [基礎編] 親族内承継や従業員承継、M&Aにおける基本的な知識や成功談、取り組みのポイントについての説明があり、参加者より「事業承継に悩んでいても、まず何をすべきかわからないこともあったが、対話形式（Q&A形式）の解説や事例等があったことで講義の内容が理解しやすく、自身が事業承継を進める際に活用できる知識が凝縮されていた」といった意見があった。 [実践編] 親族内承継、従業員承継、スモールM&Aの進め方や事業承継計画の作成方法等の具体的な手法についての解説があった。参加者より「事業承継は難しいものだと思い込んでいたが、スライドや説明がわかりやすく、前向きに取り組んでみようと思えた。引継ぎ支援センターへの相談も受けてみたい。」といった意見があった。								
実施結果	課題及び次期 以降への取組み (実績が目標値に 達していない場合 は、その理由や今 後どのようにフォ ローするのか)	▼セミナー 基礎編と実践編のどちらも受講した事業所で、事業承継についてこれまで取り組んだことのない事業所から、「2回受講したことで、より事業承継についての理解を深めることができた。」という意見をいただいた。次期以降も、事業承継支援に関する基礎講座は理解を深めるうえで必要であり、事業承継セミナーを実施したい。							

八尾商工会議所

事業名		事業継続計画（BCP）策定支援事業							
想定する実施期間		2019 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大規模自然災害や新型コロナウイルス感染拡大など経済活動を停止させるリスクに対して、万が一被災した際の早期復旧に向けた行動計画策定をはじめ、被害を最小限に留める企業防災対策などの知識を習得する必要がある。 そこでセミナー開催および個社支援を通じて、BCP策定の重要性・必要性を学び、企業防災対策を含めて事業継続力の強化に繋げる必要がある。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	・業種・事業所数等：市内小規模事業者7,630事業所（全業種） ・主なターゲット：BCP策定に関心を持つ中小事業者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	【日時】2023年10月19日（木） 18時30分～20時30分 【場所】八尾商工会議所 中会議室 【講師】ミネルヴァベリタス(株)							
		・ワークショップとして、八尾市のハザードマップを確認しながら大阪府の超簡易版BCP「これだけは！」シートの策定演習に参加者全員が取り組まれた。 ・簡易版机上訓練の実施 ※画面に状況付与（災害時に起きそうなシチュエーション）を投影し、対応をグループでディスカッションしていただいた。 ・事後フォローとしてセミナー講師と連携し、参加者アンケートで通常版BCP策定支援を希望する2社へフォローを行った。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	セミナー当日、大阪府の超簡易版BCP「これだけは！」シートの周知及び策定支援を行った。						
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗	セミナー講師と連携し、セミナーアンケートで通常版BCP策定を希望された2社へ事後フォローとして、BCP策定支援の経営相談を行い、通常版BCPの完成に繋がった。								
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	【参加者数】19社23名（総支援企業数20社） 【満足率】100% ・机上訓練として、スクリーンに大規模自然災害での被災状況を映し、参加者同士で初動対応の意見交換を初めて行った。 ・机上訓練は新鮮味があり、他の参加者同士で意見交換した後、名刺交換を促したことで異業種交流を図ることができた。 ・参加者アンケートより、「企業防災の必要性を再認識し、組織体制の検討に繋がる良いキッカケとなった」、「事業継続計画書策定の関心や知識が高まり、大規模災害への意識の変化に繋がった」、「事業継続計画（BCP）策定目的や作業の流れを理解でき、次のステップに繋がると思う。」等の感想を受け、BCP策定への意識啓発に繋がった。 ・本事業とは別に、BCPを重点支援事業と位置づけ、BCP策定に向けた個別支援を行った。 ・施策普及にあたり、独自で作成したBCP施策PRチラシ、八尾市防災マップ、大阪府の超簡易版BCP「これだけは！」シートを基本ツールとし、当所経営指導員が日常の巡回相談支援、窓口相談支援時の際に、業種、規模を問わずBCPの施策普及を行った。							
	代表指標	BCPセミナー当日、簡易版BCPを策定した企業数							
	数値目標	20社	実績数値	19社	目標達成度	95.0%			
	成果の代表事例	参加された訪問看護事業者から、2024年4月のBCP策定義務化前までに詳細版BCPを完成させたいとの相談を受け、専門家と連携して策定支援を2回行い、BCP完成に繋げることができた。							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	初めて取り入れた机上訓練は新鮮味があり、他の参加者同士で意見交換した後、名刺交換を促したことで異業種交流等にも寄与できたので、次年度も引き続き行いたい。 大阪府超簡易版BCPの施策PRをはじめ、入門編レベルとして大阪府超簡易版BCP「これだけはシート」の作成演習も引き続き盛り込み、BCPの概要および策定の必要性を理解してもらうことで、BCP策定社数の増加に繋がりたい。							

八尾商工会議所

事業名		脱炭素経営に向けた取組み支援事業							
想定する実施期間		2023 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>自然災害による被害は近年増加傾向にあり、気候変動が企業の持続可能性を脅かすリスクになりつつある。気候変動対策を行うことは、コスト増加のデメリットがある反面、リスク低減とビジネスチャンスの創出のメリットに繋がる。</p> <p>また、大企業はすでに脱炭素経営に取り組んでおり、脱炭素に向けた目標設定や再エネ調達などを取引先である中小企業にも求めており、中小企業においても脱炭素経営を促進することで取引機会の確保ができる要因にもなるため、中小企業の脱炭素へ向けた取組みは必須ともいえる。</p> <p>本事業では、中小企業が脱炭素へ向けた取組みを実現するための概要説明、事例紹介、利用できる補助金制度などを紹介し、取り組むための一助となるセミナーの開催を行う。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>①業種・事業所数等 市内小規模事業者7,630事業所（全業種）</p> <p>②主なターゲット 管内中小・小規模事業者</p>							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>●カーボンニュートラルセミナー【初級編】</p> <p>【実施時期】2023年6月27日（火）13:00～15:00</p> <p>【講師】中小企業基盤整備機構</p> <p>【開催場所】八尾商工会議所 3階 大ホール1・2</p> <p>【内容】カーボンニュートラルとは？/取組むメリット/脱炭素計画作成方法/取組事例/CO2チェックシートの活用</p> <p>【参加者数】35社37名（支援実績数33社）</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>							
		①府施策連携	脱炭素経営の動向などに関するセミナーや脱炭素を踏まえた新事業展開の成功事例の紹介、国や府の支援策の情報発信を行った。						
		②広域連携							
事業全体の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	33.0	支援実績率	165.0%	満足率	93.9%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>アンケート結果から、具体的に取組むと回答した企業29社/35社(82.8%)</p> <p>セミナーを通じて個別相談を行い、5社が脱炭素・カーボンニュートラルへの取組みを着手した。</p> <p>セミナーを通じてカーボンニュートラルの取組方法と必要性について理解をしてもらえたため、上記の満足度に繋がった。</p> <p>また、個別相談により実際に取組みを始める事業所の支援を行うことができたため、次年度以降も同様にカーボンニュートラルに取組む目的や事例紹介などを通じて、取組みを進める事業所の支援を行っていく。</p>							
		代表指標	脱炭素・カーボンニュートラルへの取組みを着手した企業数						
		数値目標	5社	実績数値	5社	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーを通じてカーボンニュートラルの取組方法を理解し、太陽光発電を導入。 ・セミナーで補助金の情報を収集できたため、補助金を申請し無事に採択された。 ・セミナー終了後、実際に着手するために個別相談を希望され、自社に合った取組み方を学んだ。 							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>カーボンニュートラルの取組みを始める事業所は増加傾向にあるが、当所で実施した調査の中でも約23%と依然として低いことが課題である。</p> <p>取組む事業所を増加させるためには、身近な取組みの成功事例や補助金を活用した事例などを紹介し、カーボンニュートラルの取組みが経営改善に繋がることを理解してもらう必要がある。</p> <p>次年度は、カーボンニュートラル＝経営改善（コスト削減）に繋がる取組みという目線でセミナーを開催していく。</p>							

八尾商工会議所

事業名		万博関連事業受注者登録支援事業							
想定する実施期間		2023 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	大阪・関西万博の準備、開催にあたっては、博覧会協会・出展者やその受注者からの直接的な需要のほか、国内外の企業関係者や旅行客など間接的な需要を含め様々なビジネスチャンスが創出される。この万博開催の経済効果を府内中小企業に波及させることを目指すため、府内中小企業及びその商品・サービス・技術等を登録し、発注者側に提供するシステムを構築し、登録を推奨する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	・業種・事業所数等 : 小規模事業者7,630事業所 (全業種)							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	●万博関連事業受注者登録システム説明会 「万博商談もずやんモール説明会」 実施時期：2023年8月8日（火）18:00～19:30 講師：キャリアリンク（株） 万博商談もずやんモール推進プロジェクトチーム 内容：万博商談もずやんモールの概要、登録方法 参加者数：30社32名（総支援企業数31.5社） 開催場所：八尾商工会議所 3階 大ホール1							
		●セミナーアンケートで自社の情報を当サイトに登録を行うと回答した24社を対象に事後フォローを実施し、5社に対して具体的な登録支援を実施した。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	万博関連事業受注者登録システムの説明会を開催する際に、説明者（講師）を大阪府と連携し調整する。						
②広域連携									
③市町村連携									
④相談相乗	セミナーアンケートで自社の情報を当サイトに登録を行うと回答した24社を対象に事後フォローを実施し、5社に対して具体的な登録支援を実施した。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	31.5	支援実績率	157.5%	満足率	80.6%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	・万博関連の受注や発注に関して、管内の小規模事業者の関心があることがわかった。 ・説明会の中で、実際に登録を行う実践方式で行ったことで、参加事業所が登録を行えたことがよかったとの声があった。 ・万博関連の受注に関して、小規模事業者の期待感が高く、当サイトへの登録推進を事後フォローを通じて行い、5社の登録を行うことができた。							
		代表指標	「万博関連事業受注者登録システム」に関する理解度						
		数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%		
	成果の代表事例	・当説明会に参加した31.5社（総支援企業数）のうち、実施後のアンケートで24社が登録を行うと回答した。また、全体の理解度も100%であり、当サイトの理解度も高かったことが伺える。 ・個別支援では、上記の24社を対象に個別支援としてアプローチを行い、5社に具体的な登録支援を行った。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	・現在、大阪商工会議所が運用する「ザ・ビジネスモール」と重複する部分があり、万博に特化した取引支援サイトの必要性を詳しく説明することや管内事業者に継続して広く周知する必要がある。 ・万博商談もずやんモールの発注者側の情報が增加することで、受注者側の小規模事業者の登録が増加すると考える。							

八尾商工会議所

事業名		ビジネスチャンス発掘フェア2023						
想定する実施期間		2011 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	高度な技術力、優れた製品を有しながら知名度が低く、販売拡大に繋がらない中小・小規模事業者は多くあるため、これら中小・小規模事業者の技術・製品・サービスを効果的かつ幅広く情報発信し、ビジネスマッチングに繋げる。 出展者や来場企業との商談・交流の機会を促進することで、販路拡大の機会を創出するとともに、全国でも有数の工業集積を誇る大阪地域の産業を広くPRする。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	・業種・事業所数等 : 小規模事業者7,630事業所 (全業種) ・主なターゲット : 販路拡大に課題を持つ中小事業者のうち、主に製造業。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	■会 期：2023年11月29日（水）10時～17時 30日（木）10時～16時 ■会 場：マイドームおおさか 2階3階展示場 ■出展者数：182社・団体、194小間 ■引合件数：13,344件（全体） ■来場者数：5,679名 ■新製品関連のプレゼンテーション及び特設展示 出展者によるプレゼンテーション：14社 新製品関連の特設展示：20社 ■出展者説明会及びセミナー 開催日：10月23日（月）～25日（水）計3日間 場所：八尾商工会議所他 計5会場 内容：開催概要、搬入・搬出、展示に関する説明 出展者セミナー：『出展成果を最大にするために自社がやるべきこと』 ※講師：(株)フジヤ ■ビジネスセミナー ※著名人を招聘し、ビジネスセミナーを実施。 ①開催日：11月29日（水） 講 師：政策アナリスト、政策家、社会保障経済研究所代表 テーマ：世界のエネルギー情勢と日本の進むべき道 ②開催日：11月30日（木） 講 師：株式会社マネネCEO 経済アナリスト テーマ：日本経済の現状と展望 ①②延べ参加社数：216社						
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
	①府施策連携							
	②広域連携	出展者募集は、各連携先の機関紙同封等を活用しながら協力して進めた。来場者周知も、各連携先の機関紙同封等を活用し幅広く実施。当日運営についても当日スタッフを手配いただき運営することができた。						
	③市町村連携	当日運営における当日スタッフの手配をはじめ、来場者周知で連携を図った。						
	④相談相乗							
計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	140.0	総支援企業数(実績)	153.0	支援実績率	109.3%	満足率	73.2%

事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>大阪府内のものづくり企業が中心に集まり、ブース毎に自社技術・製品等を展示し、出展者同士や来場者へのPRや商談が活発に行われた。</p> <p>出展者アンケートより、名刺交換等を含む引合件数は前回から微減であったが、商談成立額は前回を上回る結果となり、出展者同士や来場者との間で中身の濃い話が行われたことが分かる。</p> <p>回答者の約85%が出展目的に対して一定の成果を得られたと回答され、その中で出展成果があった割合は前回比で約8%増加、大いに満足と回答された割合も前回比で約4%増加するなど、販路開拓や製品・技術、サービスの認知度向上が図れた等の成果に繋がっていることが分かる。</p> <p>次に、出展者同士の名刺交換サポートを実施し、20社(前回:15社)から出展者同士の面談希望の申し出を受け、会期中に経営指導員がコーディネートを通じて延べ45社(前回:15社)の名刺交換サポートを行い、ビジネスマッチング機会の創出に寄与した。</p> <p>次に、出展者の新製品関連の情報発信支援として、新製品等をテーマとしたプレゼンテーションイベントおよび特設展示を実施し、プレゼンテーションは14社(前回:14社)、特設展示は20社(前回:14社)が参加され、ビジネスマッチングの機会創出へ寄与した。</p> <p>「出展者アンケートより(一部抜粋)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度で「大いに満足」と回答:13.7%(前年比+4.4%) ・出展後の自社の変化として、販路拡大への意欲が増した:26.5%(前年比+10.6%) ・出展後の自社の変化として、知名度やイメージ、信頼度が向上した:24.9%(前年比+1.6%) ・新製品を展示した:32.2%(前年比+6.4%) 					
		代表指標	名刺交換等をはじめ、商談、紹介などの引合件数				
		数値目標	10,500	実績数値	10,259	目標達成度	97.7%
		成果の代表事例	<p>会期中の引合報告書より、会期中だけで合計約2000万円の商談成立に繋がったと報告があった。</p> <p>※紙管製品製造販売、工作機械販売など。</p> <p>本フェア初出展の小規模事業者(web関連事業)についても、会期中に約70万円の商談成立に繋がった。</p>				
その他目標値の実績		目標値(計画)	300	目標値(実績)	209	目標達成度	69.7%
		<p>【ビジネスセミナー参加企業数】</p> <p>会期中の2日間において、上記著名人を招聘しビジネスセミナーを開催。</p> <p>2日間で延べ216社が来場され、経営判断の参考としての情報提供が行えた。</p> <p>また聴講者が展示場へ足を運ばれたことで、出展者との名刺交換の機会創出にも寄与した。</p>					
その他目標値の実績		目標値(計画)	30	目標値(実績)	40	目標達成度	133.3%
		<p>【出展者同士の交流支援社数(名刺交換)】</p> <p>「ビジネスマッチングシート」として情報提供し、出展者同士の名刺交換サポートを実施。出展者同士の積極的な交流の仕掛けとして、全出展者へ会期中に面談したい相手先出展者を予めヒアリングし、20社から(前回:15社)出展者同士の面談希望の申し出を受けた。会期中に経営指導員がコーディネートを行い、延べ43社の名刺交換サポートを行い、ビジネスマッチング機会の創出に寄与した。</p>					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>アンケート回答結果より、来場された目的に対する成果は前回比で横ばいだが、情報収集、受注先や発注先の開拓、技術等の提携先、自社技術サービスの提案等などの声を頂くなど、回答者の約96%が一定の成果を得られていることが分かり、来場者が寄せる本フェアへの満足度は高いことが感じられる。</p> <p>出展者アンケート結果より、名刺交換等を含む引合件数は前回から微減であったが、商談成立額は前回を上回る結果となり、出展者同士や来場者との間で、中身の濃い話が行われたことが分かる。回答者の約85%が出展目的に対して一定の成果を得られたと回答され、その中で出展成果があった割合は前回比で約8%増加、大いに満足と回答された割合も前回比で約4%増加するなど、販路開拓や製品・技術、サービスの認知度向上が図れた等の成果に繋がっていることが分かる。</p> <p>出展成果を高めるために、特に展示商談会に不慣れな出展者のサポートが重要。引き続き経営指導員のフォローアップやミニセミナーを通じたノウハウの底上げを行い、事前準備(展示物、キャッチコピー、展示装飾)、当日の営業対応方法、会期後の事後フォローを体系的に習得いただくためのフォローを行っていく。</p>					

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	300.0	支援企業数(実績)	216.0	支援実績率	72.0%	満足率	86.1%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	【ビジネスセミナー】 会期中の2日間において、上記著名人を招聘しビジネスセミナーを開催。 2日間で延べ259名が来場され、経営判断の参考としての情報提供が行えた。 また聴講者が展示場へ足を運ばれたことで、出展者との名刺交換の機会創出にも寄与した。							
		指標							
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	30.0	支援企業数(実績)	43.0	支援実績率	143.3%	満足率	53.5%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	【出展者同士の名刺交換サポート】 「ビジネスマッチングシート」として情報提供し、出展者同士の名刺交換サポートを実施。出展者同士の積極的な交流の仕掛けとして、全出展者へ会期中に面談したい相手先出展者を予めヒアリングし、20社から(前回:15社)出展者同士の面談希望の申し出を受けた。会期中に経営指導員がコーディネートを行い、延べ45件の名刺交換サポートを行い、ビジネスマッチング機会の創出に寄与した。							
		指標							
	数値目標		実績数値		目標達成度				
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				

八尾商工会議所

事業名		求人確保支援事業	
想定する実施期間		1999	年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>人材不足を解消すべく、また時間的、費用的に効率よく求職者を確保できるように面接をしていただける場を設ける。また、人材を早急に確保したい事業所に対応できるよう、年間を通して定期的に面接会を開催し、求人事業所のサポートする。</p> <p>求人事業所に対してミスマッチにならないような面接方法や求人者向けの面接の受け方などの講座や支援の実施する。有効求人倍率の増加から、求人の機会を望む事業所も多く、一方で事業所の人員整理による早期退職者の再就職の希望もあり、現状の就職環境としては、今後も継続すべき事業である。</p>	
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<p>①業種・事業所数等 全業種対象(八尾市内事業所数10,930社) ※令和3年度経済センサス基礎調査より</p> <p>②主なターゲット 求人募集している事業所</p>	
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>■会社説明会・就職面接会（会場：八尾商工会議所） 卒業予定の学生及び新卒者、障がい者・中高年齢層も含めた幅広い層の求職者を対象に、八尾市内で積極的に求人を募集している事業所による合同会社説明会・面接会を開催。求人事業所ごとに個別ブースを設け、求職者は求人票の希望条件から面談したい事業所を選択してもらい、順番に個別面談を行った。</p> <p>【開催日】2023年5月12日（金）14:00～16:00 【参加事業所数】22社 【来場求職者数】27名（延べ36名が面談） 【就職決定者数】0社0名</p> <p>【開催日】2023年7月7日（金）14:00～16:00 【参加事業所数】23社 【来場求職者数】31名（延べ46名が面談） 【就職決定者数】1社1名</p> <p>【開催日】2023年9月8日（金）14:00～16:00 【参加事業所数】23社 【来場求職者数】50名（延べ69名が面談） 【就職決定者数】3社3名</p> <p>【開催日】2023年12月8日（金）14:00～16:00 【参加事業所数】20社 【来場求職者数】42名（延べ44名が面談） 【就職決定者数】4社5名</p> <p>【開催日】2024年3月8日（金）14:00～16:00 【参加事業所数】20社 【来場求職者数】68名（延べ65名が面談） 【就職決定者数】5社5名</p> <p>■就職フェアかしわら・やお2023（会場：アゼリア柏原） 八尾市、柏原市、ハローワーク藤井寺、ハローワーク布施、柏原市商工会と共同で開催。卒業予定の学生及び新卒者、障がい者・中高年齢層も含めた幅広い層の求職者を対象に、八尾・柏原市内で積極的に求人を募集している事業所による合同会社説明会・面接会を開催。求人事業所ごとに個別ブースを設け、求職者は求人票の希望条件から面談したい事業所を選択してもらい、順番に個別面談を行った。</p> <p>また、当日は職業相談ブースや大阪府労働相談コーナーを設置し、求職者の支援も行った。</p> <p>【開催日】2023年11月21日（火）13:00～16:00 【参加事業所数】20社（八尾12社、柏原8社） 【来場求職者数】53名（延べ89名が面談） 【就職決定者数】7社9名</p>	
	<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>		
①府施策連携	大阪府商工労働部雇用推進室労働環境課と協力し、就職フェアかしわら・やおの検討会議などで配架チラシの内容を検討し、大阪府のメルマガで求職者に対して案内を行った。		
②広域連携	柏原市商工会、柏原市等と連携し、市の広報誌、会報紙や市のHP等にポスター、チラシを掲示し求職者、求人事業所の募集を実施した。		
③市町村連携	八尾市と連携し、人的支援と求職者、求人事業所の募集を実施した。		
④相談相乗			

事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	18.0	総支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	111.1%	満足率	75.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	就職フェアの参加企業数20社(八尾市内企業12社、柏原市内企業8社)。参加した企業のうち、7社が人材を雇用することができ、一定の成果があった。来場求職者についても、会場内で積極的に声掛けを行い、希望職種のヒアリングや求人事業所の案内を行い、複数の事業所との面談を勧める等、会場内でのマッチング促進を行った。							
		代表指標	参加求人事業所と求職者とのマッチング数						
	数値目標	5社	実績数値	7社	目標達成度	140.0%			
	成果の代表事例	【アンケートより抜粋】 ●様々な方が面接に来られて、「人を見る」ことの大切さ、大変さを学びました。自身の成長につながったと思います。 ●1人1人の方と時間をかけて話すことが出来た ●工場見学へつながった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	60	目標値(実績)	53	目標達成度	88.3%			
	就職フェア来場者(広域連携) ・就職フェアについて、来場者60名を目標としていたが、実来場者数は53名と目標を下回る結果となった。								
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	2023年度は会社説明会の来場者数は目標値が上回ったものの、就職フェアの来場者が目標値(60名)よりも下回る53名だった。要因としては、コロナ禍で全国的にオンライン面接会の増加や、求職者がSNSやWEB上で直接企業に応募するケースが増加してきており、企業の求人方法や求職者の求人検索方法が多様化してきているためと思われる。全国、大阪府の有効求人倍率は、毎年少しずつではあるが増加傾向にあり、2024年度の求職者の来場者数を維持するためにも、各地域の掲示板でのチラシの掲示や関係機関でのチラシの配架や当所事業内での周知、HP上での広報を行うことで、情報発信の強化を行う。							

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	150.0	支援企業数(実績)	218.0	支援実績率	145.3%	満足率	145.3%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	会社面接会・説明会の5月・7月・9月・12月・3月の来場者								
		指標								
	数値目標				実績数値			目標達成度		
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)			目標達成度		
実績/達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	27.0	支援実績率	180.0%	満足率	180.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2023年度の八尾市無料職業紹介所の新規求人登録事業所数								
		指標								
	数値目標				実績数値			目標達成度		
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)			目標達成度		
実績/達成度③	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	50.0	支援企業数(実績)	64.0	支援実績率	128.0%	満足率	128.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	会社面接会・説明会の参加事業所数								
		指標								
	数値目標				実績数値			目標達成度		
その他目標値の実績	目標値(計画)				目標値(実績)			目標達成度		